

各 位

会 社 名 日本板硝子株式会社  
 コード番号 5202  
 本社所在地 東京都港区三田三丁目5番27号  
 代 表 者 森 重樹  
 問 合 せ 先 IR部長 源甲斐 洋行  
 電 話 03-5443-0100

**通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2022年11月10日に公表した2023年3月期通期の連結業績予想につき、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

**I. 2023年3月期通期連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）の修正**

（百万円）

	売上高	営業利益	税引前利益 (△損失)	当期利益 (△損失)	親会社所有者 に帰属する 当期利益 (△損失)	基本的 1株当たり 当期利益 (△損失) (注)
前回発表予想(A)	740,000	18,000	△35,000	△38,000	△41,000	△472円71銭
今回修正予想(B)	750,000	28,000	△25,000	△34,000	△37,000	△428円67銭
増減額(B-A)	10,000	10,000	10,000	4,000	4,000	44円04銭
増減率(%)	1.4%	55.6%	-	-	-	-
参考：前期実績	600,568	19,980	11,859	6,759	4,134	24円07銭

(注) 基本的1株当たりの当期利益については、A種種類株式にかかる配当金の影響を考慮した数値を記載しています。

**II. 修正の理由**

売上高および営業利益については、第3四半期累計の業績が想定を上回ったことを踏まえて上方修正しました。

これは主に建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業を中心に販売価格が上昇したこと、および第3四半期の販売数量が概ね前回予想時の想定を上回り、投入コスト増加の影響を軽減することができたことによるものです。

税引前損失については、上記の営業利益の増加に加え、金融費用の増加および持分法による投資利益の増加を見込んでいます。当期損失および親会社所有者に帰属する当期損失の予想については、税金費用の増加を想定しています。

当社は、引き続き中期経営計画（RP24）で掲げた財務基盤の回復を推進して参ります。

## 2023年3月期通期業績予想

想定を上回る第3四半期累計実績を踏まえ、通期売上高・営業利益予想を上方修正。  
税引前損失・当期損失・純損失についても改善

(億円)	2023年3月期 第3四半期 累計実績	2023年3月期 通期予想 (前回予想)	2023年3月期 通期予想 (今回予想)	増減	2022年3月期 通期実績
売上高	5,662	7,400	<b>7,500</b>	100	6,006
営業利益	242	180	<b>280</b>	100	200
個別開示項目(純額)	△ 439	△ 450	△ <b>440</b>	10	36
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 198	△ 270	△ <b>160</b>	110	236
金融費用 (純額)	△ 113	△ 130	△ <b>150</b>	△ 20	△ 125
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	△ 34
持分法による投資損益	54	50	<b>60</b>	10	75
持分法投資に関する その他の利益(△損失)	△ 11				△ 34
税引前利益 (△損失)	△ 268	△ 350	△ <b>250</b>	100	119
当期利益 (△損失)	△ 348	△ 380	△ <b>340</b>	40	68
純利益 (△損失) *	△ 372	△ 410	△ <b>370</b>	40	41

2023年2月9日 | 2023年3月期第3四半期決算報告

\*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

(注) 上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市況、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

以 上